

第510回番組審議会報告

開催日 : 令和4年9月28日(水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長/中川愛美 委員/堀内史子 委員/三浦真守 委員
水山和敬 委員/齋藤義紀 委員/(リポート参加) 中村出 委員

議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率・制作関連 黒須 取締役編成制作局長兼番組審議会事務局長

2. 報道関連 後藤 取締役報道局長

3. 合評番組

◇ 「新庄まつり 2022」

令和4年9月10日(土) 14:00~14:55 放送

担当: 編成制作局 制作部ディレクター 阿部真子

◎その他

内容:

山形テレビの第510回番組審議会が開かれ、9月10日に放送した「新庄まつり2022」を合評しました。260年余りの歴史がある新庄まつり。コロナ禍でここ2年完全には開催できなかった山車(やたい)行列を通常通りに行いました。番組では、いわば3年ぶりの祭りの本格開催に臨んだ18の山車若連の思いを山車の紹介とともに伝えました。さらに直木賞作家、今村翔吾さんが各山車が表現した歴史場面などを解説しました。

出席した委員からは、

「豪華絢爛な山車で見ごたえがあったが、山車の紹介では、宵祭り、本祭りとの切り替えや、カットが多いなど忙しく感じた。もっとじっくり見せてほしかった」

「山車行列の参加者だけではなく、沿道に詰めかけた人、市民らの様子、声がほしかった。これらがあれば3年ぶり本格開催のワクワク感が伝わったのではないか」

「18の山車すべてを紹介したが、その手法が単調であった。公平に扱うのではなくメインを数台にしぼり、製作過程なども取材し紹介していく方法もあると思う」

「山車の歴史絵巻、場面についての直木賞作家・今村翔吾さんの解説はわかりやすく良かった」

「次代につなぐ意味で高校生や中学生の祭りへの関わりに取材は良かった。地域の祭りを受け継いでいくという意味でも大事なことだと思う」

「地域の伝統、文化を発信していくことはローカル局としての役目でもあり、今後もこうした番組を続けてほしい」などの意見がだされました。

以上